

第54回 宇部市廃棄物減量等推進審議会議事録

・日時 平成29年2月22日(水) 14時30分から16時30分

・場所 宇部市ときわ湖水ホール ミーティングルーム

・出席委員

(会長)	関	根	雅	彦	(副会長)	城	田	久	岳
	笠	井	邦	雄		渡	壁	正	英
	前	原	佳	子		三	戸	利	満
	小	松	宗	人		松	重	啓	子
	河	村	竜	太		森	田	律	子
	井	関	祐	子		藤	本	米	子

・欠席委員

鈴木	春	菜	平岡	幸子
茂山		守	中島	由加利

・事務局

市民環境部長	石部	隆
市民環境部次長	秋田	浩二
廃棄物対策課長	長岡	哲雄
環境保全センター施設課長	黒瀬	寛文
地域エネルギー推進室長	川崎	一利
廃棄物対策課長補佐	上田	康次郎
環境保全センター施設課長補佐	中野	篤
廃棄物対策課資源循環推進係長	河村	真彦
廃棄物対策課資源循環推進係主任	内海	里美
廃棄物対策課資源循環推進係主任	芝田	徹

・資料

- 1 平成27年度総括表
- 2 平成28年度の事業報告
- 3 食品リサイクルループの推進について

・次第・議事録

- 1 市民環境部長あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - (1)平成28年度の事業報告について
 - (2)食品リサイクルループの推進について

会長	本日の議題は、「平成28年度の事業報告」と「食品リサイクルループの推進」についてです。それでは、まず「平成28年度の事業報告」について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1「平成27年度総括表」及び資料2「平成28年度の事業報告」により説明
会長	ありがとうございました。いまの説明に対してご質問はございますか。
委員	事業報告でお伺いしたいのですが、事業系一般廃棄物削減の取組の中で349事業所に対して事業系一般廃棄物の資源化・減量化に関する計画書の提出を依頼したということですが、実際に提出された件数はどのくらいありましたか。
事務局	今現在、234事業所からご提出いただいています。
委員	ようするに、100%ではないということですね。これは、年度の初めに提出していただくものなのでしょうか。
事務局	はい、5月に事業所に依頼文書を発送して、5月中の提出をお願いしています。
委員	要綱では、事業系一般廃棄物の資源化・減量化に関する計画書を提出する必要がある事業所は延べ床面積が500㎡以上又は、1日100kg排出以上の事業所だったと思いますが、それ以外は提出しなくても良いのでしょうか。
事務局	おっしゃるとおり要綱上は延べ床面積が500㎡以上又は、1日100kg排出以上の事業所が対象となります。延べ床面積が500㎡未満のところでも市長が特に必要と認めた事業所ということで、この度は特にコンビニエンスストアを中心に提出を依頼しました。
委員	実際に156事業所に訪問されていますが、これは提出されていないところを訪問されたのでしょうか。
事務局	この156事業所は計画書を提出していただいた事業所の中から訪問させていただいた数になります。
委員	私に言わせれば、逆に提出していない事業所を訪問する必要があると思います。要するに、事業所はある部分は有料でゴミを排出していますけど、ほとんど税金ですよ。だから、もっと強く減量化計画書を出さないといけない、あるいは立入調査まで行いますよという姿勢もあつたほうが良いと思いますが如何でしょうか。
事務局	提出していない事業所につきましても、数には含んではいませんが提出の依頼ということで、訪問しているところがあります。
委員	お訪ねするのではなくて、もう少し強く指導的な立場で行ってもいいのではないかと思います。もう一つは要綱の条件に合うところには100%提出を依頼しているのか聞きたいのですが。
事務局	全ての事業所の規模や排出量を把握することは難しいですので100%とは言い切れません。

事務局	<p>事業所から提出していただく前年度の実績報告書と当該年度の減量化計画書は数量で記載していただくようになっていますが、現実的には事業所で精度の高いごみの排出量の把握は難しいということで、事業所にはごみの排出量をまず把握していただくことが、ごみの減量化対策の第一歩ですということをご指導しながら提出を依頼しているところです。この1日100kg排出以上という条件をどうやって抽出するのかと言いますと、一つは規模の大きい事業所、もう一つは焼却場搬入申請書から搬入頻度の高い事業者をリストアップして提出を依頼しています。</p>
委員	<p>まずは計画を立てることが大事なことで、その計画に沿って実施できたかどうか市でよく分析してそのデータを活かすようにしていただきたいと思います。</p>
委員	<p>家庭系廃食油のリサイクル推進についてですが、これが唯一順調に伸びている印象を受けます。回収量が毎年30%以上増加の実績があがっていますが、今後の展開として、ある意味ニーズがあるということが、この数字を見ると理解できるのですが、今後ニーズを広げて活かすような考えがあるのか伺いたいのですが。</p>
事務局	<p>こちらの回収量は年々順調に増えていまして、使用量につきましても常盤公園のパッカー車や交通局の路線バス、私も廃棄物対策課のパッカー車で平成26年度に12,6150、平成27年度に17,9800と増えていきます。今後につきましては、回収場所がまだ9箇所ですので、回収場所をもっと増やして、より市民が出しやすい環境を整えたいということと、BDFの使用量をまだまだ増やしていきたいと思えます。</p>
委員	<p>ちょっと思ったのが、旧楠町に回収場所がないのが気になりました。今の回収場所はスーパーマーケットやガソリンスタンドが多いですが、支所なんかも利用できるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>検討していきたいと思えます。</p>
委員	<p>私は一般の家庭でいかにごみを減量できるかということが問題だと思います。市民一人当たりのごみの排出量が年々増えていますが、高齢化が進んでいることが原因の一つだと思います。大人用おむつが紙ごみで増えているのではないのでしょうか。昔から考えると、今は信じられないくらい贅沢な暮らしを私たちはしています。昔の生活に戻すことは出来ませんので、昔と比べてごみの排出量が増加傾向にあることを私たちは踏まえないといけません。味噌の中にビニール片が混入したということで、何万食も製造業者が回収したという報道がありましたが、あまりにも潔癖すぎるのではないのでしょうか。ごみはたくさん出るということ踏まえた上で、ごみの減量化の努力はしますが、それでもごみは減りません。そんなに、ごみの処理に費用がかかるのであれば、ごみ袋を有料化すべきだと思います。</p>
事務局	<p>まず紙おむつの件ですが、燃やせるごみが年間54,000tぐらいある中で、今わかってきたのが、紙おむつが3,000tぐらいあるのではないかとということです。紙おむつの特性上、水を吸収しやすいので中々燃えにくい性質があります。これを有効に使うため、紙に戻すということをチャレンジしていますが、中々上質なパルプまでに戻すのはコスト的に合ってきません。宇部市で考えているバイオマスを有効活用する4つの方策のうちの一つが紙おむつを有効活用するというので、簡単に言いま</p>

	<p>すと、一回使った紙おむつを大きな洗濯機に入れて繊維を取り出すということなのですが、中々コスト的などころで合わないということで、どうすればコスト的に合うのか、いま企業に入っていて研究しているところです。おっしゃるとおり高齢化が進んでいます。もうしばらくは高齢化が進んでいきます。そうすると子どもだけではなくて、高齢者の紙おむつも出てくるということを想定して研究していますが、なかなか進んでいない状況です。</p> <p>指定ごみ袋の制度の見直しは以前の審議会で議題に出させていただいていますが、生ごみのバイオガス発電をちょうど今検討しているところで、生ごみをメタン発酵させメタンガスを発生させる、そして液肥を作る。それをまた農作物を作るところに使っていくというループを作るというお話をしていますけど、じゃあどうやって分別するのという課題が出てきますが、生ごみを分別するのは非常に大変なので、分別している生ごみは袋が無料、分別していない生ごみは袋が有料というようなインセンティブに使えないかというようなことを考えています。大きく制度を変える可能性がありますので、しっかり審議会で意見を聞かないといけませんし、排出業者の方、収集運搬業者の方、いろんな方の意見を聞いて商売として成り立つように、また経済の循環が成り立つような形になるように検討していきたいと思います。</p>
委員	生ごみを活用したバイオガス発電事業については、私は非常に期待しております。
会長	指定ごみ袋制度の見直しの議論をこの審議会で議論するのは大体いつごろになる予定でしょうか。
事務局	食品リサイクルループについてはごみ収集全般に渡る課題になると思っていますので、各業界の方に意見を聞いて、まだそこまで完全に決めている訳ではありませんが目安としては平成29年度にとりかかりたいと思っていますが、行政というのは議会で予算が承認されてはじめて進んでいきますので、そういったことも含めて進めたいと考えています。
会長	ここにかかってくるのは、早ければ平成30年度というイメージでしょうか。
事務局	そういうことですね。
会長	わかりました。
委員	直搬ごみは、この5年間で増えていますが、収集ごみは約800t減っています。一般住民はごみの減量化に努力していると思います。私は自治会長をやっています、たまたま近くのアパートでごみ捨て場の掃除をしていましたので、覗かせていただいたのですが、びん・缶、生ごみ、いろいろなものが、ごちゃ混ぜに捨てられていました。収集業者が一戸あたり1,500円でびん・缶、生ごみを分別して宇部市の処理施設に搬入しておられます。アパートの住民は、自分から出たごみを分別せずごちゃ混ぜにして収集業者にお渡ししているということです。一户あたり1,500円払ってるんだから文句あるかということなのでしょうけど。一方でわれわれ一般家庭では、極力水を切ったり、丁寧に分別して5年間で約800tのごみを削減しています。私

	<p>はごみが増えたのはコンビニが増えたのとアパートが増えたのが原因ではないかと思 います。アパートの住民から出るごみを減らす方向にもっていけば、ごみはもっと減 ると思います。</p>
委員	<p>私もこのごみの量の推移から見て直搬ごみは増えていると思います。直搬ごみはど ういうごみが多いのか統計があれば教えて頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>先ほどの減量化計画書では品目ごとに報告していただくようになっていますが、焼 却場に入ってくるごみについては、直搬ごみだけの組成分析はしていません。収集ご みとあわせた焼却場に入ってきた状態での組成分析で言いますと、紙ごみが4割以上、 厨芥類が3割弱ということで、やはり紙ごみと生ごみが大半を占めます。一般家庭で は古紙の日がありますので徹底的な分別をしていただいています。一方で焼却場に資 源化できる段ボールなどの紙類が事業所から搬入されていますので、事業所から出る 紙類の中でも個人情報に係るものもありますが、一般家庭で普通に分別している新聞、 雑誌、段ボールぐらいについては、再資源化していただくように、昨年度から今年度 にかけて事業所をお願いしています。事業所ごみで次のターゲットになるのは、それ ら以外の紙ごみ、例えばシュレッダーごみはリサイクルできるのに焼却場に持ち込ま れていますので、資源化のほうにまわしていただくよう、大口のところから個別に訪 問して、少しずつですが変化が出てきています。</p> <p>あとは厨芥類ですが、家庭で水切り等、いろいろ取り組んでいただいています、 食べきり協力店や事業所訪問で行った飲食店にお話を伺いますと、どうしても市民で あるお客さんの食べ残しが多いとのことで、家ではやっておられるけど、そういった ものも事業所ごみになってしまいますので、食べ残しをしないよう、市民にご協力い ただければ事業所ごみが減っていくと思います。</p> <p>アパートから出てくるごみについて、いま力を入れているのは、可燃ごみ以外が 混じっていれば最終的に水際の所で厳しく指導しています。増加傾向にある中で防ぐ 対策に手をつけていなかったところですが平成28年度当初から力を入れて取り組ん でいます。</p>
会長	<p>はい、よろしいでしょうか。私からも一つ言いたいのですが、基本計画の中で重点 施策をまとめられたと思います。重点施策として何をやって成果がどれだけあがった か、特に効果がわかる形でまとめていただいて、その施策がうまくいっているのかど うか見ていけるようにしていただければありがたいと思います。</p>
会長	<p>それでは次の議題に参りたいと思います。次の議題は「食品リサイクルループの推 進」についてです。この議題について事務局から説明をお願い致します。</p>
事務局	<p>資料3「食品リサイクルループの推進について」に基づき、地域エネルギー推進室 川崎室長より説明</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。この件について、ご質問はございますか。</p>
委員	<p>家庭系生ごみの4, 640 tの算出根拠を教えてください。</p>

事務局	<p>宇部市の平成26年から過去5年間のごみの組成分析の結果を平均した数値に、大木町での生ごみの分別の割合が大体7割でしたので、7割を掛けた数字です。やはり100%分別されるかということ、中々されないところがありますので、それを考慮に入れた数字です。</p>
委員	<p>紙おむつを紙にリサイクルする話ですが、エコとは言いますけれど決してエコではないという意見がありまして、まず洗うのに水を使います。また紙に再生するのに電気を使います。宇部市の紙おむつの再生利用について、どれくらいの量の紙おむつを収集し、また収集にかかる費用はどのように概算をされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>具体的な事業化とか、どれくらいの規模でとか採算性とか、そういったところまではまだ出ていません。企業で実証事業とか、どういった規模でできるかとか、いろいろ考えています。先ほど宇部市の紙おむつの処理量は約3,000tという話がありましたが、それくらいの量で事業性があるのか、まだまだ集めない事業採算性がないのか、そういったところも今企業で考えていますので、その結果をうまく踏まえながら事業化に向けて諮問出来ることはしていきたいと思います。</p>
委員	<p>ずいぶん前から生ごみのメタンガス化ということが注目されていましたが、宇部市でもようやくそういう話が出てきました。宇部市での生ごみのメタンガス化について事業計画はどこまで進んでいるのでしょうか。</p>
事務局	<p>平成27年度の生ごみを活用したバイオガス発電可能性調査で1日20t程度処理可能な施設の建設費が約9億円です。また収集とかいろんな部分で、どれくらい費用がかかるかは、まだ出ていません。収集体制も今のままではできませんので、そういったところが見えてくると事業性というのが分かってくると思います。</p>
委員	<p>収集体制を含めて、経費面でどれくらいかかるのかというのが出ないと予算もいただけないと思います。そして採算がとれるのかどうか大きな問題になると思います。利益があがらず、どんどん赤字を出すようなことであれば、運営できません。そこが分からないとなると、早くそこを明らかにしないと、進んでいけないと思います。</p>
事務局	<p>生ごみを分別するには何かインセンティブがないと中々できないですし、施設は作ったけど、分別していないから生ごみが集まらないということでは駄目だし、出来た液肥をどこに撒くのか水処理しないといけないのかとか、いろんな課題が見えてきていますので、そういったことを十分検討しながら進めていきたいと思います。</p>
会長	<p>すごく夢のある事業だと思いますが、まだまだ決まっていないことも沢山ありますし思惑どおりにいかないところも沢山あると思いますので、それは行政でしっかりやっていただいて、我々はそれを楽しみに見ていければいいと思います。長期的に見ていかないといけないと思います。私としては、ここではもっと我々が出来ることを考えるべきで、あまり出来ないことを議論しても仕方ないと思います。結局、今解決しないといけないことは、これだけ議論しているのに、毎年ごみの量が増えていることで、どうしても増えてしまうものもあるかもしれない、例えば、事業所のごみは景気が良くなると増えてしまうという話があります。そうすると景気が良くなったら増えるものを重量だけで議論しているから、リサイクルなり、減らす努力ができていようか数字に表れてこないわけですね。だから結局、我々が努力しているのかどうか数値で表せるようにして、それぞれの所が、ちゃんと努力しているのかどうかを分かるよ</p>

	<p>うにして、それで成果を計れるようにしていかないと、いつまで議論しても仕方がないと思っています。</p> <p>次回に向けて、もう少し具体的に指標を含めて考え直さないといけないということをできるだけ議論していかないといけないと思っています。生ごみの分別は、我々にもできて、この事業にも関係して、かつ我々の努力の効果が見える化するのに有効な方策ではないかと思います。生ごみを分けた方がごみ袋にかけるお金が少なくて済むというのはインセンティブになると思いますし、まず生ごみを分けたら、今家庭で絞っているか絞っていないか分からない状態から、絞ればごみの減量になるということが、はっきりわかるようになると思います。まず、出来ることとして、そういうことをできるだけ早く実施できるように考えていただきたいです。</p>
委員	<p>生ごみの分別ができない人もいっぱいおられるかもしれないけど、できる人はすべきです。そういったことはやらないと。これだけ贅沢な生活を享受している訳ですから。便利な生活を。だからそういったことはやったほうが良いと思います。</p>
事務局	<p>平成29年度にモデル地区でやろうと考えています。今の説明の中でもちょっと出ましたけど、小さなプラントを作る。そこに入れるごみが必要な訳です。そうしますと、かつて平成25年度の生ごみ・草木リサイクル実証事業で、厚南際波台で生ごみの分別をやってみましたが、実際に生ごみをきちんと分別して出せるかというのは一度やっています。平成29年度はこれをまず試験的にやってみようとして環境衛生連合会に話をするのと各校区で競争はできないかとかいろいろなアイデアをいただきました。今の収集システムから言うと校区別に収集していないとか、いろんな問題がありますが、必ず平成29年度にモデル地区を決めてやりたいと思います。</p>
会長	<p>各校区で競争できないかというのは、本当にできたらすごく進むと思います。こういう形でやったら競争できるとかいう意見を特に市民系の委員から聞けたらいろいろ参考に出来ると思います。私も収集ルートごとに重量を比較するような情報を出したら自治会があせるんじゃないかというような意見を出したことがありましたが、パッカー車が収集ルートを回っていっぱいにならなかつたら、余所も回って収集するから比較できないと言われればそれもそうだなと思いましたが、こちらからアイデアを出して行って採用できるものを提案していかないとなかなか面白くない。行政からも中々案が出ないと思うから、そういったところで知恵を出し合っていたきたいと思っています。</p>
委員	<p>今私が考えているのが、月・水・金が生ごみなど燃やせるごみの収集日になっていますが、例えば月曜日を生ごみだけを収集する日にして、水曜日・金曜日は今の燃やせるごみの分別で収集するというような方法もいいかなと思っています。</p>
事務局	<p>どんな分別の仕方がいいか、またどんな収集の仕方がいいかというアンケートを実施した結果、週4回の収集がいいという回答が一番多かったです。そういういろいろな思いがありますので、我々が今後いろんな業界の方とも協議しながら実際に企業活動として成り立つ形で作っていかないといけないと思っていますので、いろんな意見をいただいて、それを深めていきたいと思っています。</p>
会長	<p>もう一つ私が気になっているのが事業系のごみです。事業系もまだまだいろいろできますという話を伺いましたが、やはり指標がよろしくないと思います。何か努力が</p>

	<p>きちんと計れるような指標にしたほうがインセンティブも働きやすいと思いますし、私は事業者の感覚が分からない部分も多いので事業系はこういう尺度で見てもらったら努力もできるというアイデアを事業系の委員の方から出していただければたいへん参考になると思います。売上げがあがっているときはごみも増えると思いますが、売上げあたりのごみの量は減っていますとか言われたほうがきっといいのではないかと思います。何かそういう合理的で努力が生かされるような指標についてもっとアイデアを出したほうがいいと思います。</p>
委員	<p>ごみを減量するのであれば、審議会として逆に市に対して、我々ができることを提案するという会議にしたほうがいいと思います。将来5年10年先のバイオマスとかは、すぐ来年からはできない話で委員の任期は2年ですから、せめてそのうちで何かできることを残したい気持ちがあります。一般家庭から出る生ごみの約8割は水です。簡単に計算するとパッカー車3台のうち2台は水を運んでいます。これを解決するだけで、たいへんな削減になるし私たちのごみの排出量もものすごく減ります。だから我々ができるのは、一般市民が実践できることを提案してそれを宇部日報等に取り上げてもらって、それでも17万の市民は動かないかもしれないけど、それに乗って参加してくれる人が絶対いると思います。一番端的な例で近年よかったのがレジ袋の有料化です。これを何回言っても有料化になりませんでした。ところがある企業がやりますということで一気に広がりました。宇部市全体で95%以上の方が買い物袋を持って買い物をしています。これも小さなことですがたいへんなことだと思います。同じように我々の審議会も生ごみを減らすということをごさうじやないかということを実現できなくても提案だけでもして終わりたいなと思いますがどうでしょうか。</p>
委員	<p>今の水分を少なくという話で、私はエコクッキングに関わった一人なのですが、まずは、お野菜も葉っぱからしっぽまで料理して食べる。そして流し台の上で皮をむいて玉ねぎの皮なんかも濡らさないで、すぐ生ごみとしてごみ箱に入れて、それを流し台の上で絞るなんてことはできないから、濡らさない努力をして、ごみを減らす。絞る以前に水に濡らさないことを私はやってきました。</p>
会長	<p>この会議は諮問された案件を議論するところなので、じゃあどうすればいいかということを考えたら、今一応このルールの中でできることは、議論されたことについて行政側が判断して取り入れられることは取り入れられて来たとは思いますが、委員が思うほどにはなっていないところがあると思います。でも私もたった3年間ですけどやってきて、議論したことが中々取り入れられていないと感じるところはあって、今の制度の中でできることと言えば、とりあえず会長が事務局にプレッシャーをかける以外にはないのかなと思って、今年は出来るだけそのような努力をしないとイケないなと思っています。そこまで会長がプレッシャーをかけなくても、ここで話されたことをどんどん取り入れていただければ私も楽ですので、是非、せつかくここで委員が時間を使って議論している訳だから、ここで出たことに対してやるやらない、それに対してどう答えるのかっていう回答をしていただきたいという話があったと思いますが、これは今採用できないから何年後に考えるとかでもいいから、きちんと取捨選択して選んだことはやっていくということを示していただきたいし、私もそれが結果として残るようにしっかり見ていきたいと思っています。</p>

委員	<p>私はバイオマスについて宇部市が実際にどういうふうに事業化するかわかりませんが、私は2年ぐらい前に日田市のバイオマス資源化センターに黒石校区で視察に行ったのですが、そこは牛や豚を飼っている人が糞尿を持ち込んでそれをメタン発酵処理して発電して、その液肥は無料でもらえるという施設でした。だから宇部市が生ごみをわざわざバイオマスの施設まで分別して運んだ方が費用が安いのか、焼却した方が安いのかというのは問題だろうと思います。日田市のように豚とか牛とかいっぱい飼っているところに、分別せずに持ってきてというのであれば、採算がとれている。しかし一般家庭の主婦を総動員して魚の頭、野菜、あと紙とか分別を徹底したものを持っていけるかといったら私は一般住民にそれだけ分別してくれる人は1割ぐらいではないかと危惧しております。その辺をよく勉強してやっていただきたいと思います。確かにバイオマスを有効に活用するということは非常に素晴らしいことだけど、一般家庭の生ごみを開けて見たら大変なことだろうと思います。私の家内の状況を見てもそう思います。ただスーパーの弁当の残りを分別して豚の餌にするということなら皆に協力してもらえるかもしれません。一般家庭で本当に生ごみの分別ができるのか、そういう問題をかかえている訳です。</p>
委員	<p>農業者の立場から言いますと液肥を使って生産された野菜が市場で受け入れられるか心配です。学校給食センターに出荷できれば安定した収入になります。ただ問題はうちの子に液肥を使った野菜を食べさせるのかという保護者からの反発があるかもしれないというのが気になるところです。</p>
会長	<p>もうそろそろ時間ですので、これだけは言っておきたいということがありましたらお願いします。</p>
委員	<p>別件ですが、PETボトルがPEFボトルにということで、去年の9月の朝日新聞に載っていたのですが、PETボトルよりも材質がいいプラスチックでできているということで東洋紡が今年ぐらいから飲料会社に売りこんでいます。だから割と早い時期にPETボトルがPEFボトルに変わる可能性があります。PETボトルはポリエチレンテレフタレートですね略してPETボトル、PEFボトルというのはポリエチレンフラノエートという樹脂です。酸素の透過がPETの10分の1だから出来たてを入れても酸化しにくい、また軽量化ができるということで、いろんなメリットがあります。そういう材質の変更があった場合、PETボトルと見分けがつかない場合、行政はどういう対応をとられるのでしょうか。</p>
事務局	<p>国の容器包装リサイクル法という制度は、これも一つの循環のシステムで、分別して、きちんとリサイクルをしていくという仕組みが今できています。今のシステムで当面続いていくと思いますが、そういう新たな素材が出てくれば、それに合わせてうまくシステムづくりは国の方で当然されると思っています。状況を見て対応していきたいと思っています。</p>
委員	<p>審議会の委員として提案なのですが、とにかくごみの量を減らすには、やはり一番大事なことは、先ほど言ったレジ袋を5円、3円と取ということ。それから水切りをすること。水切りをすればパッカー車3台が1台で済みます。相当なごみの削減ができます。それを審議会として、市にやってくれということの結論を会長のほうから市に言ってほしいと思います。市はそれに対してどういった形でやりますと回答してほ</p>

	<p>しい。私がいいと思うのは3円なり5円なりとレジ袋の無料配布を中止したように、生ごみの分別が進む動機づけになるような制度を設計してもらいたい。そういったことを市がやっていただければ、市民はちゃんと出していただけると思うから、是非審議会として、市に提案していただきたいと思います。</p>
会長	<p>事前の打ち合わせをもっと随分前からして来ないと大変だなと思いました。それでは議論はこれで終わりにしたいと思います。</p>